

「高等学校改革プラン」に地域住民の声を 反映し、すべての子どもたちにゆきとどいた 教育の実現を求める署名

2004年 月

大分県教育委員会

教育委員長 立 花 旦 子 様

教 育 長 深 田 秀 生 様

県立高校の再編整備について検討してきた高等学校改革プラン検討委員会は、10月4日に「中間まとめ」を発表しました。

この「中間まとめ」で提言された内容が実施されれば、以下のような問題が生じます。

- ① 地域から高校が消えること（「三重高校」と「三重農業高校」と「緒方工業高校」と「竹田商業高校」・「宇佐高校」と「四日市高校」・「中津工業高校」と「中津商業高校」・「国東高校」と「国東農工高校」と「双国高校」が統合）で、遠距離通学者が増え、それに伴い保護者の経済的負担が増加する。
- ② 県教委による「適正規模」化（1学年6～8学級）がすすめられることによって、更に多くの高校が統廃合される。
- ③ 学区を「全県一区」に拡大することによって学校間格差が更に広がり、地元の高校に「行けない」子どもたちが増える。
- ④ 定時制高校の削減（「碩信高校」と「大分中央高校」と「別府鶴見丘高校定時制」・「中津工業高校定時制」と「中津商業高校定時制」）により、働きながら学ぶ生徒にとっては、通学が困難な状況になる。
- ⑤ 「併設型中高一貫教育校」の設置によって、受験競争の低年齢化が進む。

特に高校の統廃合については、これまで地域の声を十分に聞いてこなかったことにより、とりわけ対象となった高校を抱えている地域住民は強い不信感を抱いています。

私たちは、すべての子どもたちにゆきとどいた高校教育を保障することを切に願い、今後の高等学校改革プラン策定にあたり、下記の事項を要求します。

記

- 1 地域住民の声を無視した高校の統廃合を行わないこと。
- 2 学区の拡大を行わないこと。

名 前	住 所

《連絡先》 大分県教職員組合・大分県高等学校教職員組合

〒870-0929 大分市大字下郡字長谷496-38 大分県教育会館内 電話 097-556-5617 FAX 097-556-3321

取り扱い団体